

サマースクール in 信州 2004 レポート

～環境を守る大切さを自然の中から学んで

8月22日から27日まで、小学1年生から6年生までの男子18名、女子15名と一緒に、信州を訪れました。

今回は東京、横浜からの参加者が8名と増えました。

お世話をするのは、NPO 日本高齢・退職者福祉推進協会の理事を務める上野政男さん(うえさん)、杉本久さん(すぎさん)、マザーネットからは水谷しんさん、上田、そしてインターンシップ中の立命館大学3回生朝賀美帆さん(あさちゃん)の男性3名、女性2名です。

7回目のスクール、今回はどんなおもしろいことが飛び出すか…。早速お伝えします！

■ 1日目 初めて出会う仲間たちとの対面

8:20に新宿を、8:36に新大阪をそれぞれ路線バスにて出発し、子どもたちだけの楽しい旅の始まりです。

今回33名中、17名がドキドキの初参加。また、1年生が7名！なんとなくいろいろ起こりそうな予感です。お昼前に東京組は自然の家に着。14時半、大阪組もようやく到着。まずは自己紹介。住んでいる市、小学校の名前などを発表します。「調布市…それどこや？」知らない地名に、興味深々です。最初のプログラムは合気道。すぎさんとあさちゃんの模範演技を真剣な表情で見つめます。最近はこの怖い事件も多いので、護身術を学ぶことは大切です。夕食後はキャンドルファイヤー。誰のロウソクが一番最後までついているか…。こんな競争が大好きのようです。

■ 2日目 自分たちで作った料理はおいしい！

初めて迎える高遠での朝、いつも子どもたちに起こされます。昨夜の雨も上がり、午前中は畑で農作業体験。

今年のじゃがいもはイノシシに食べられることなく、立派な大きさのものがたくさん収穫できました。毎年同じ畑を訪ねると、その年の気候による野菜の成長の違いも学べ、おもしろいです。

自然の家にもどり、お餅つき。そんなに食べて大丈夫！？と心配するほど食べる子も。一番人気は、大根おろし+しょうゆ。午後は、午前中収穫した野菜を使って、カレーライス作り。作っている途中、急にさびしくなってしまったみどたん。「ママに会いたい…」とのこと。抱っこしてあげて、いろいろお話ししました。お友達も心配そうな表情で集まっています。思いっきり泣いた後は、ケロッと元気に！実は4日目の晩にビンゴ大会があることを話し、商品の一部を女の子たちに紹介しました。「スクール来てよかった！」「最後までがんばるぞー！」将来に希望が持てたようです。どんなに楽しいことがあるか、最初に紹介すればよかったかも、と次回への課題です。

■ 3日目 高遠の町で自然に溶け込んで

今日は自然の家を離れて、城下町高遠に出かけます。まずは、高遠まんじゅう作り。町のお饅頭屋さんの協力でようやく実現しました。生地を丸く伸ばし、あんこを入れて包み、蒸すこと10分。ふかふかのまんじゅうが出来あがり。その上にコテで桜の花びらの模様をジュンと入れます。あんこはちょっと…と言っていた子どもたちも「うまい！」。

その後は、町の高台の方へ歩き、スケッチ。1年生は初めて絵の具を使うことも多く、「あの色どうやったらできるの？」と質問も相次ぎ、しんさん先生は大忙し。「お水はどこで入れるの？」「川の水を使うんだよー」。時間が経つにつれ、子どもたちが自然に溶け込んでいきました。

自然の家にもどってからは、うえさんによる本格的な弓道の模範演技。「すごい！」と歓声が。学年別に分かれ弓道の体験をしました。的の中心に当たったなるちゃんは「最高！」と気持ちよさそうでした。夕食後は、今日東京から到着したNPO 高福協顧問の西功先生(山口東京理科大学元教授)と徳田昌則先生(東北大学名誉教授)に、科学と物理の不思議についてお話していただきました。大人でも十分楽しめる、興味深いお話でした。

■ 4日目 長野での自然破壊について学んで

今日も快晴。午前中は自然の家の中にある環境未来センターで、水の研究です。家から持参した水のPHとCOD(化学的酸素要求量)を簡易なパックテストを使用して測定します。PHは6.5から8.5まで様々。人によって色が違うので、みんなで比較して楽しそう。こんなことから化学の楽しさを知ってくれたら…と、理科系離れが進む今、ひそかに思っています

。実験の後は、白衣を着た昆虫博士が、長野での自然破壊について熱く語ってくれました。

農薬が水を汚していること、雷鳥やミヤマシロチョウがいなくなっていること…。私自身もかなりシヨ

ックを受けましたが、子どもたちの心にも、何か届いたと思っています。午後は、木の本棚作り。キーホルダー、時計作りをした子もいるので、電動ノコギリや、やすりの使い方が毎回上手になっていきます。夕食後は、マジックショー&ビンゴ大会。あさちゃんもマジックを披露し、大拍手！しんさんも新作マジックを披露しました。

夜、女の子たちがお母さんに電話している時、「あのね、しんさんっていうおばさん頭の変な人がいるんだよ！」とうれしそうに報告していました。子どもたちだけの生活にもすっかりなじんできたようです。ケンカもよくしますが、すぐに仲直り。そしてまたケンカ。こうやって人との関係性を覚えていくのでしょうか。

■ 5日目 買い物ゲームでは、優勝チーム決めで大激論！

4泊した自然の家を後にして、諏訪湖へ向います。今日は諏訪の街の活性化を進めるTMOの柿崎さん、諏訪商工会議所の山岸さん、大学生の中村さんの協力を得て、諏訪湖と街なか探検を行います。まずはわかさぎ釣り用のドーム船に乗り、諏訪湖を探検。水温25.5℃、水深5.6m、透明度0.8m、PH9。グループに分かれて計測しました。PHとCODは昨日一人ずつ実験したので、慣れた手つきです。湖底の泥をにおってみると「くさーい！」。網を投げてみるとフナが釣れ、つり竿では、わかさぎが次々と釣れます。4日間山の中にいたので、湖の上は爽快です！

船を下りると、上田から指令が。「今日の昼ご飯、晩ご飯、明日の朝ご飯を自分たちで買い物すること。一人の予算は1,500円。リーダーにまとめてお金を渡すので、おつりが一番少なかったグループに商品が出ます！」。

「がんばるぞー！」急に燃える子どもたち。お昼はどこで食べてもOKでしたが、結局みんな駅前のデパートのレストランに集まりました。600円までのメニューを探します。食事の後は、商店街を歩きながら、「あったらいいなこんなお店」を考えます。しかし、心の中は夕食と朝食の買い物のことでいっぱい。どんな小さな買い物でも「マザーネットで領収書を下さい！」と言わなければいけません。また、グループの小さな子どもたちの分も希望を聞いて用意しなければいけません。最後はデパ地下で食材の購入。「ポテトサラダ50グラム下さい！」など、なかなかのオーダー。

さて結果は！？今日、宿泊の森林学習館に到着後、街なか観察の結果を発表しました。

そして最後に、買い物ゲームの発表。結果は以下の通りになりました。何と3グループが5円！大人はいっさい口出ししてはいけませんが、最後の追い込みはすごいものでした。3グループ同点優勝かと思いきや、4グループのリーダーしょうちゃんが怒ります。「あとのグループは時間を守っていない！」。みんなに配ったプリントには16時20分までに買い物と書いてあるが、16時にいったんデパート入り口集合、と案内した私。この激論は1時間にも及びました。結局、4グループ600円、1グループと2グループが300円ずつのお菓子を買ってもらう、ということで、決着が着きました。ホッ。

グループ	1	2	3	4
残ったお金	5円	5円	55円	5円
到着時間	16:20	16:35	16:05	16:00

■ 6日目 またいつか会おうね！

目を覚ますと、窓からは蓼の海の澄んだ湖が広がっています。自分たちで用意した朝食は、菓子パン1個がほとんど。後はお菓子をいっぱい買い込んでいました。午前中はセイコーエプソンの高級腕時計作りの現場を見学。「将来、この仕事をしてみたい！」と、けいいちくん(小4)。午後はオリジナル腕時計作り。バンドもケースも自分の好きな色を選べます。3人ほどもを除いては、みんな違う組み合わせのものが出来上がりました。初めて身につける時計が手作り…なんて最高だと思います。長かったスクールもいよいよ終了。

一足早くバスが出る東京組を見送り、帰りのバスに乗りました。そしてお母さんたちの待つ大阪へ。大人になった時、何か覚えていてくれるとうれしいな、と思っています。